

令和2年大崎上島町議会（第2回）臨時会会議録（第1号）

1 令和2年5月11日大崎上島町議会臨時会が大崎上島町役場に招集された。

2 出席した議員は次のとおりである。

1 番	尾 尻 康 二	2 番	越 田 賢 一
3 番	閑 田 大 祐	4 番	浜 田 明 利
5 番	水 橋 直 行	6 番	森 若 巖
7 番	浜 田 幸 造	8 番	前 田 太
9 番	渡 辺 年 範	10 番	道 林 清 隆
11 番	上青木 至	12 番	信 谷 俊 樹

3 欠席した議員は次のとおりである。

欠席なし

4 会議録署名議員は次のとおりである。

3 番	閑 田 大 祐	4 番	浜 田 明 利
-----	---------	-----	---------

5 職務のため会議に出席した職員は次のとおりである。

議会事務局長	川 野 義 彦	書 記	亀 井 成 美
--------	---------	-----	---------

6 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者は次のとおりである。

町 長	高 田 幸 典	副 町 長	望 月 邦 彦
教 育 長	西 田 光 也	総務企画課長	山 本 秀 樹
住 民 課 長	柿 本 賢 士	福 祉 課 長	池 田 真 二
保健衛生課長	竹 下 良 二	地域経営課長	坂 田 誠
教 育 課 長	有 田 芳 徳		

7 議事日程及び付議事件は次のとおりである。

第 1	会議録署名議員の指名について
第 2	会期の決定について
第 3 承認第 1 号	専決処分した事件の承認を求めることについて
第 4 承認第 2 号	専決処分した事件の承認を求めることについて
第 5 承認第 3 号	専決処分した事件の承認を求めることについて
第 6 承認第 4 号	専決処分した事件の承認を求めることについて
第 7 承認第 5 号	専決処分した事件の承認を求めることについて

第 8 承認第 6 号 専決処分した事件の承認を求めることについて

第 9 承認第 7 号 専決処分した事件の承認を求めることについて

第 10 議案第 41 号 令和 2 年度大崎上島町一般会計補正予算（第 2 号）

8 会議の経過は次のとおりである。

午前 9 時 00 分 開会

○議長（信谷俊樹君） おはようございます。

ただいまの出席議員は 12 名です。定足数に達していますので、これより令和 2 年第 2 回大崎上島町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元にお配りしたとおりです。

○議長（信谷俊樹君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第 127 条の規定により、議長において閑田大祐議員、浜田明利議員を指名いたします。

○議長（信谷俊樹君） 日程第 2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日 1 日間にしたいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 異議なしと認めます。したがって、会期は 1 日間に決定されました。

○議長（信谷俊樹君） 日程第 3、承認第 1 号専決処分した事件の承認を求めることについてを議題といたします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（高田幸典君） 承認第 1 号専決処分した事件の承認を求めることについて説明を申し上げます。

地方税法施行令等の一部を改正する政令等が令和 2 年 3 月 31 日に交付され、原則として同年 4 月 1 日から施行されることに伴い、大崎上島町国民健康保険税条例の一部を改正し施行する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められるため、地方自治法第 179 条第 1 項の規定により 3 月 31 日付で大崎上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を専決処分したので、同条第 3 項の規定により議

会に報告し承認を求めるものでございます。

改正内容については、担当課長から説明を申し上げます。慎重審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（信谷俊樹君） 住民課長。

○住民課長（柿本賢士君） 承認第1号大崎上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の主な改正点について説明いたします。

国民健康保険税の医療保険部分である基礎課税分の限度額を61万円から63万円に、介護納付金分の限度額を16万円から17万円に引き上げを行い、また軽減の対象となる所得の基準を見直し、5割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定においては被保険者及び特定同一世帯所属者の数に乘すべき金額を28万円から28万5,000円に、2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定においては被保険者及び特定同一世帯所属者の数に乘すべき金額を51万円から52万円にそれぞれ引き上げを行っております。

附則中では、長期譲渡所得に係る国民健康保険税の課税の特例に係る関係法令の改正に合わせた修正等を行いました。

以上です。

○議長（信谷俊樹君） これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 討論なしと認めます。

これで討論を終結します。

これより承認第1号専決処分した事件の承認を求めることについてを採決いたします。

お諮りします。

本案は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 異議なしと認めます。したがって、承認第１号は承認することに決定されました。

○議長（信谷俊樹君） 日程第４、承認第２号専決処分した事件の承認を求めることについてを議題といたします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（高田幸典君） 承認第２号専決処分した事件の承認を求めることについて説明を申し上げます。

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部を改正する法律等が公布施行されたことに伴い、大崎上島町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正し施行する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められるため、地方自治法第１７９条第１項の規定により３月３１日付で大崎上島町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例を専決処分したので、同条第３項の規定により議会に報告し承認を求めるものでございます。

改正内容については、担当課長から説明申し上げます。慎重審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（信谷俊樹君） 住民課長。

○住民課長（柿本賢士君） 承認第２号大崎上島町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の主な改正点について説明いたします。

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律、情報通信技術利用法の一部改正に伴い、第６条書面審理、第２項に情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律、情報通信技術活用法に規定する電子情報処理組織を使用して弁明がされた場合に前項の規定に従って弁明書が提出されたものとみなす改正と第１０条手数料の額等の規定、第１１条手数料の減免の規定の追加及び改正に合わせて字句修正等、所要の規定の整備を行ったものです。

以上です。

○議長（信谷俊樹君） これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

閑田議員。

○3番（閑田大祐君） ちょっとわからないんで教えてください。

要は、電子申請等にかかわる手続に関するもろもろの改正ってということなんでしょうけども、固定資産評価審査委員会条例の改正に関して4月1日から施行ということではあるんですけども、これが即日施行ということで、これを即日施行しなければならないということですよ、ならない。ていうのが、現実には要は審査手続等、うちの町で電算システムで今申請をされる方がどの程度おるのかなと、そんなことを考えたときにはきちっと説明がされた後でも問題はなかったのかなと思うんですよ。4月1日からやれっていうような縛りのあるものならそうなんだろうけど、そこら辺がちょっとよくわからないんで教えてください。

○議長（信谷俊樹君） 住民課長。

○住民課長（柿本賢士君） この固定資産評価審査委員会条例につきましてですが、今回の改正につきましては弁明書の提出ということで、いわゆる一般的な電子申請ということではなくて、行政審査に関する弁明書の提出を電子申請でした場合に書面ではなくて電子申請でも弁明書を出したものとみなすという規定でございます。固定資産税、5月1日賦課ということになりますので、それに合わせて4月に条例改正をさせていただいたところ です。

○3番（閑田大祐君） よくわからん。まあいいわ。

○議長（信谷俊樹君） よろしいですね。

ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 討論なしと認めます。

これで討論を終結します。

これより承認第2号専決処分した事件の承認を求めることについてを採決いたします。

お諮りします。

本案は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 異議なしと認めます。したがって、承認第２号は承認することに決定されました。

○議長（信谷俊樹君） 日程第５、承認第３号専決処分した事件の承認を求めることについてを議題といたします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（高田幸典君） 承認第３号専決処分した事件の承認を求めることについて説明を申し上げます。

地方税法等の一部を改正する法律等が令和２年３月３１日に公布され、原則として同年４月１日から施行されることに伴い、大崎上島町税条例の一部を改正し施行する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められるため、地方自治法第１７９条第１項の規定により３月３１日付で大崎上島町税条例の一部を改正する条例を専決処分したので、同条第３項の規定により議会に報告し承認を求めるものでございます。

改正内容につきましては、担当課長から説明申し上げます。慎重審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（信谷俊樹君） 住民課長。

○住民課長（柿本賢士君） 承認第３号大崎上島町税条例の一部を改正する条例の主な改正点について説明いたします。

個人住民税関係では、ひとり親に対する税制上の措置及び寡婦（寡夫）控除の見直しを行い、婚姻歴、性別の有無にかかわらず、ひとり親控除を新設し、ひとり親以外の寡婦控除については引き続き寡婦控除の適用を行います。

固定資産税については、所有者が死亡し相続登記がされるまでにおいて、現に所有している者に対し必要事項の申告を制度化し、所有者が明らかとならない場合に現に使用している者を所有者とみなす制度の拡大を行っています。

たばこ税については、軽量の葉巻たばこの課税方式の見直しを行い、輸出等に係る課税免除の手続の簡素化を図っております。

そのほか、法律の改正に合わせて字句修正等、所要の規定の整備を行っています。

以上でございます。

○議長（信谷俊樹君） これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 討論なしと認めます。

これで討論を終結します。

これより承認第３号専決処分した事件の承認を求めることについてを採決いたします。

お諮りします。

本案は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 異議なしと認めます。したがって、承認第３号は承認することに決定されました。

○議長（信谷俊樹君） 日程第６、承認第４号専決処分した事件の承認を求めることについてを議題といたします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（高田幸典君） 承認第４号専決処分した事件の承認を求めることについて説明を申し上げます。

広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例が令和２年５月１日に公布され、原則として同日から施行されることに伴い、大崎上島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正し施行する必要性が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められるため、地方自治法第１７９条第１項の規定により４月３０日付で大崎上島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例を専決処分したので、同条第３項の規定により議会に報告し承認を求めるものでございます。

改正内容については、担当課長から説明申し上げます。慎重審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（信谷俊樹君） 保健衛生課長。

○保健衛生課長（竹下良二君） 承認第4号大崎上島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の主な改正点について説明いたします。

新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に対する傷病手当金の支給について、広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の施行に伴い、令和2年5月1日から傷病手当金の申請書の受け付け事務を開始することとなるため、合わせて大崎上島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正したものです。

以上です。

○議長（信谷俊樹君） これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 討論なしと認めます。

これで討論を終結します。

これより承認第4号専決処分した事件の承認を求めることについてを採決いたします。

お諮りします。

本案は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 異議なしと認めます。したがって、承認第4号は承認することに決定されました。

○議長（信谷俊樹君） 日程第7、承認第5号専決処分した事件の承認を求めることについてを議題といたします。

提出者より提案理由の説明を求めます。



町長。

○町長（高田幸典君） 承認第5号専決処分した事件の承認を求めることについて説明を申し上げます。

令和2年3月10日付で、国からの通知の新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の支給についてに基づき、大崎上島町国民健康保険条例の一部を改正し施行する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められるため、地方自治法第179条第1項の規定により4月30日付で大崎上島町国民健康保険条例の一部を改正する条例を専決処分したので、同条第3項の規定により議会に報告し承認を求めるものでございます。

改正内容については、担当課長から説明を申し上げます。慎重審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（信谷俊樹君） 保健衛生課長。

○保健衛生課長（竹下良二君） 承認第5号大崎上島町国民健康保険条例の一部を改正する条例の主な改正点についてご説明申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症対策については、国内で感染が拡大しつつある状況から、さらなる拡大をできる限り防止するため、労働者が感染した場合に休みやすい環境を整備し、国内の感染拡大防止の観点から傷病手当金の支給をするため、大崎上島町国民健康保険条例の一部を改正したものです。

以上です。

○議長（信谷俊樹君） これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 討論なしと認めます。

これで討論を終結します。

これより承認第5号専決処分した事件の承認を求めることについてを採決いたします。  
お諮りします。

本案は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 異議なしと認めます。したがって、承認第5号は承認することに決定されました。

○議長（信谷俊樹君） 日程第8、承認第6号専決処分した事件の承認を求めることについてを議題といたします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（高田幸典君） 承認第6号専決処分した事件の承認を求めることについて説明を申し上げます。

地方税法等の一部を改正する法律等が令和2年4月30日に公布され、原則として同日から施行されることに伴い、大崎上島町税条例の一部を改正し施行する必要性が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められるため、地方自治法第179条第1項の規定により4月30日付で大崎上島町税条例の一部を改正する条例を専決処分したので、同条第3項の規定により議会に報告し承認を求めるものでございます。

改正内容については、担当課長から説明を申し上げます。慎重審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（信谷俊樹君） 住民課長。

○住民課長（柿本賢士君） 承認第6号大崎上島町税条例の一部を改正する条例の主な改正点について説明いたします。

町民税について、所得割の納税義務者が指定行事のうち新型コロナウイルス感染症の影響で生じた入場料金等の払い戻し請求権を放棄した場合、寄附金を支出したとみなし、町民税の控除規定を適用をすることとし、住宅借入金等特別税額控除については適用期限を令和16年まで延長することとしたものです。

また、軽自動車税については、環境性能割額の非課税措置及び税率の特例措置の適用期限を延長しております。

その他、新型コロナウイルス感染症緊急対策を踏まえた地方税法等の一部を改正する法

律に合わせて、所要の改正を行っております。

以上でございます。

○議長（信谷俊樹君） これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 討論なしと認めます。

これで討論を終結します。

これより承認第6号専決処分した事件の承認を求めることについてを採決いたします。

お諮りします。

本案は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 異議なしと認めます。したがって、承認第6号は承認することに決定されました。

○議長（信谷俊樹君） 日程第9、承認第7号専決処分した事件の承認を求めることについてを議題といたします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（高田幸典君） 承認第7号専決処分した事件の承認を求めることについて説明を申し上げます。

本報告は、令和2年度大崎上島町一般会計補正予算（第1号）について、議会を招集する時間的余裕がないことから、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したので、同条第3項の規定により議会に報告し承認を求めるものでございます。

補正予算は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7億8,983万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ84億7,521万4,000円と定めたものでござ

ざいます。

内容は、新型コロナウイルス感染症対策及び関連施策の実施に係る経費として、国の施策として特別定額給付金給付事業、子育て世帯臨時特別給付金給付事業、県との連携施策としての事業者感染拡大防止協力支援金に対する負担金、妊産婦等及び施設等へのマスク等の配布、町備蓄品の補充等について緊急対策を迅速に実施する必要がある、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認められることから、これに要する経費について所要の補正を行ったものです。

以上でございます。慎重審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（信谷俊樹君） これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 討論なしと認めます。

これで討論を終結します。

これより承認第7号専決処分した事件の承認を求めることについてを採決いたします。

お諮りします。

本案は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 異議なしと認めます。したがって、承認第7号は承認することに決定されました。

○議長（信谷俊樹君） 日程第10、議案第41号令和2年度大崎上島町一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

提出者より提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（高田幸典君） 議案第41号令和2年度大崎上島町一般会計補正予算（第2号）

について提案説明を申し上げます。

本案は、令和２年度大崎上島町一般会計予算の総額に歳入歳出それぞれ５，９２２万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ８５億３，４４３万４，０００円と定めるものでございます。

補正予算の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策に係る町民及び中小企業事業主等の支援を目的に、子育て世帯臨時特別給付金事業、新型コロナウイルス感染症対策給付金など、各種施策に要する経費について新たに予算の追加を行うこととしております。

歳入予算については、全額を財政調整基金繰入金により賄うこととしております。

詳細については、総務企画課長より説明を申し上げます。慎重審議の上、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

○議長（信谷俊樹君） 総務企画課長。

○総務企画課長（山本秀樹君） それでは、補正予算の詳細について説明いたします。

予算書の７ページをお願いします。

歳入予算ですが、歳入歳出予算の均衡を図るため、繰入金の基金繰入金として財政調整基金繰入金５，９２２万円の追加を計上しております。

次に、８ページをお願いします。

歳出予算ですが、民生費では、児童福祉費の児童措置費に国施策の子育て世帯への臨時特別給付金に町独自に１万円を上乗せし給付する子育て世帯臨時特別給付金として、児童手当支給事業５０７万円の追加を計上しております。

衛生費では、保健衛生費の保健衛生総務費に感染予防対策を行う事業所等に対する対策経費補助として、感染症対策に５００万円の追加を計上しております。

商工費では、商工費の商工振興費に前年同月より３０％以上減収した町内事業者等に対する事業継続、生活支援金として１０万円を支給する感染症対策給付金及び国の雇用調整助成金の事業主実質負担分６％を町が継ぎ足し補助する雇用継続対策給付金として、中小企業振興対策費３，４１５万円の追加を計上しております。

次に、教育費では、修学奨励費に大学等に在学している学生の保護者に対し、学生の修学及び生活が困難な状況に対する当面の生活費等の支援に要する経費として、大学等奨学金貸付事業１，５００万円の追加を計上しております。

以上でございます。

○議長（信谷俊樹君） これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

歳入歳出全般についての質疑を行います。

質問される方は、ページ数、款項目節を言って質問してください。

質疑はありませんか。

閑田議員。

○3番（閑田大祐君） 誰かするか思ったんですけど、質問せんで1点。

緊急支援貸付事業、大学生等に向けての30万円の部分なんですけども、貸し付け、これは一括30万円全額ということでよろしいでしょうか。それと、据置期間を設けるということでしたけども、これは何年据え置きで返済方法がどのようになるのか。あと、これに対する保証人等はどのようにするつもりなのか。

これが過去の奨学金の滞納整理が滞っている部分について非常に気になるんで、例えば奨学金の滞納が認められる学生もしくは保護者のところに対してもこの貸し付けを行うのか、この辺を聞きたいと思います。

○議長（信谷俊樹君） 教育課長。

○教育課長（有田芳徳君） お答えします。

まず、貸し付けの資格ですけれども、本人または保護者が町内に住所を有し、本人が大学及び専修学校等に在学をしていることということです。貸付金額につきましては30万円、これは一括交付です。無利子となります。そして、返還についてでございますけれども、学校を卒業後6カ月据え置き、それからその翌月から5年以内に半年分均等償還、3万円ずつを年2回で5年間、30万円を返還していただく内容にしています。

貸し付けの際に、今回のコロナの状況を勘案してなるべく審査を簡素化したいと思っておりますけれども、先ほどありました既に滞納がある方の、例えば今奨学金を滞納している、今回そのご兄弟の申請が上がったときっていうのは当然審査の段階でそのあたりのことを話をして、やむなく貸し付けには至らないことも十分考えられます。当然、貸し付けて滞納が出て滞りが出るといったことはないように検討したいというふうに考えています。

以上です。

○議長（信谷俊樹君） 閑田議員。

○3番（閑田大祐君） 今の返済の開始時期というのは、卒業後半年ということですか。これは奨学金の返済の開始時期と合わせてると思うんですけども、そうなったときに経済

的負担ということ等については検討されたんでしょうか。

○議長（信谷俊樹君） 教育課長。

○教育課長（有田芳徳君） ご指摘のとおり、一般の奨学金と同じ償還のタイミングになります。今回の地域の奨学金貸付事業に当たりまして、課内で協議をいたしました。今の状況を踏まえて、貸し付けは必要だろうということになったわけなんですけれども、償還について貸付要項等、既存の奨学金の要項を反映させたものにしております。ということになりますと、先ほどご指摘のように、償還のタイミングがダブルパンチになる方も出てくるやに思います。ここのところはもう少し検討する必要がある今回の貸し付けにはあるのかなというふうに考えておりますので、また庁舎内でもう一回もんでみたいというふうに考えております。

○議長（信谷俊樹君） 閑田議員。

○3番（閑田大祐君） いずれにしましても、住民の方の経済的困窮を防ぐという目的でこういう制度をつくるっていうことですから、特に否定するつもりはないんですけども、ただ現実問題として滞納という問題がきちっと整理できていない部分を踏まえて、同じように焦げついていくようなことのないように十分気をつけながら行ってください。

以上です。

○議長（信谷俊樹君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終結します。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 討論なしと認めます。

これで討論を終結します。

これより議案第41号令和2年度大崎上島町一般会計補正予算（第2号）を採決いたします。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」〕

○議長（信谷俊樹君） 異議なしと認めます。したがって、議案第４１号は原案のとおり決定されました。

以上をもって本臨時会の会議に付された事件は全て終了いたしました。

これで令和２年第２回大崎上島町議会臨時会を閉会いたします。

本日はご苦労さまでした。

午前９時３６分 閉会

会議経過を記載してその相違ないことを証するため署名する。

議 長

署名議員

署名議員